

(参考1) 平成21年3月31日現在のPCB廃棄物の保管等の状況

参考表-1 PCB廃棄物の保管状況

廃棄物の種類	保管事業所数	保管量
高圧トランス	7,307	34,091 台
高圧コンデンサ	50,410	261,601 台
低圧トランス	996	39,195 台
低圧コンデンサ	4,135	1,679,017 台
柱上トランス	268	2,402,900 台
安定器	15,702	6,125,407 個
P C B	337	62 トン
P C B を含む油	2,794	145,313 トン
感圧複写紙	382	702 トン
ウエス	1,886	556 トン
汚泥	354	21,065 トン
その他の機器等	8,060	531,964 台

参考表-2 PCB廃棄物を保管する事業所におけるPCB使用製品の使用状況

廃棄物の種類	保管事業所数	保管量
高圧トランス	2,408	10,530 台
高圧コンデンサ	5,989	20,597 台
低圧トランス	191	18,943 台
低圧コンデンサ	213	28,293 台
柱上トランス	29	1,025,389 台
安定器	1,367	248,331 個
P C B	28	549 kg
P C B を含む油	20	78,518 kg
その他の機器等	2,749	16,957 台

参考表-1から参考表-2までにおいて、ドラム缶等各種容器にまとめて保管又は使用している場合など、トランス等（高圧トランス、高圧コンデンサ、低圧トランス、低圧コンデンサ、柱上トランス、安定器、その他の機器等）が台数又は個数で計上できないもの、PCB等（PCB、PCBを含む油、感圧複写紙、ウエス、汚泥）が重量や体積で計上できないものについては、事業所数のみ計上した。

なお、PCB等については、重量又は体積で計上されたもののうち、体積で計上された分については、1L=1kgとして重量に換算して集計した。

微量PCB汚染廃電気機器等はその他の機器等に含まれている。

(参考2) PCB 廃棄物の保管量等の主な変動要因

○保管量については、主に以下の増加・減少要因が考えられる。

(増加要因)

- ・保管されている廃棄物が新たに把握されたため。
- ・使用を終えた製品が廃棄物となり保管されたため。
- ・廃棄物の種類が変更されたため。

(減少要因)

- ・処分（処理）が進んだため。
- ・廃棄物の種類が変更されたため。

○使用量については、主に以下の増加・減少要因が考えられる。

(増加要因)

- ・使用されている機器が新たに把握されたため。
- ・使用している機器の種類が変更されたため。

(減少要因)

- ・機器の使用を終えたため。
- ・使用している機器の種類が変更されたため。